

## 「脳卒中片麻痺上肢に対する経頭蓋直流電気刺激下ロボット支援訓練の臨床研究」

### 参加者募集

脳の可塑性が見直された今日、脳卒中片麻痺上肢に対する直接的な治療法がいくつか検討され、リハビリテーション医学における先端医療として注目を浴びています。そのなかで、ロボット機器を用いた上肢訓練機器や脳の障害半球に経頭蓋直流電気刺激（tDCS）行なうなどの方法が報告され、治療選択の幅が広がっています。また、治療法を組み合わせることで、より大きな効果が得られることが期待されています。

今回、慢性期脳卒中片麻痺患の方を対象に、ロボット訓練とtDCSを組み合わせた治療法の効果を検討する治療研究を行なうこととしました。既に、同様の機器を用いた研究がドイツで実施され有効性と安全性についての報告があります。

#### 参加の条件

参加いただける方

初回発症の脳卒中で発症後6ヶ月以上経過している方

中等度～高度の上肢片麻痺を有する方

治療の内容が理解できる方

痙攣発作の既往がなく、頭蓋内にクリップなどの金属植え込みがない方

上記以外にも幾つか条件があります。

#### - 参加スケジュール -

研究参加期間は2週間です。

上肢ロボット訓練機器（アームトレーナー、ドイツ製）と経頭蓋直流電気刺激装置（DC stimulator PLUS, ドイツ製）を用いて、1日約1時間の治療を行ないます。

治療前後に、運動機能を測定し効果を確認します。

- 問合せ先

産業医科大学リハビリテーション医学講座

住所：北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

電話：093-691-7266

担当：佐伯・小田

